

令和4年1月

大阪府立豊中高等学校
校長 平野 裕一

学校教育自己診断に関するアンケート調査結果について

平素は本校の教育活動にご理解、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今年度も「学校教育自己診断」を12月に実施し、608名（57.3%）の保護者の皆さまから回答をいただきました。生徒実施分391名（36.8%）とあわせて結果とそのまとめを報告いたします。

昨年同様に肯定的な回答が大半ではありましたが、個々に見ると改善を要する項目や、より力を入れていかなければならない項目もあります。今年度より生徒・教員が1人1台のChromebook 端末を持つようになり、該当項目「授業等でICT機器が使われる機会がある」においては、一昨年度の76.3%から94.7%に増加し、今年度は97.7%とさらに数値が上昇しました。また、それに伴い「授業で自分の考えをまとめ、発表する機会がある」という項目においても、昨年度91.5%から今年度93.4%となりました。

本校では、グローバルに活躍できる人材育成の観点から教育活動を行ってまいりました。今年度も引き続き新型コロナウイルス感染症による、教育活動の大きな制限がありました。しかし、新学習指導要領に向けての新たな取り組みやSDGs・Society 5.0を踏まえて授業改善を重点的に取り組み、引き続き多様な学びの形態を通して、生徒の皆さん一人一人の「志」の実現をサポートします。

また、本校は行事・部活動・（課題研究と関連した）社会貢献活動など様々な取り組みに全力で取り組む「文武両道」を掲げております。ご家庭でのお子様へのサポート、生活習慣や学習習慣が何より重要です。本調査から家庭学習の習慣など自学自習に関して、まだまだ改善の余地があるようにも見受けられます。時間の長さだけではなく、学習の質を高めるとともに、学習意欲のさらなる向上をめざして、GLHS（グローバルリーダーズハイスクール）校としての多様な企画やSSH及びWWL事業をはじめとした課題研究、土曜日午前の講習、土曜セミナー等を行ってまいります。

ご家庭におかれましても本校の教育活動により関心を持っていただき、また、お子様のよりよい生活・学習習慣確立へのサポートをどうぞよろしく願いいたします。

生徒アンケート調査結果のまとめ

※数字は、質問項目の肯定的回答率です。

◆「学習の評価」について

- 項目 2 「授業内容は自分の学習や発達に役立っている」 (R2) 88.4% ⇒ (R3) 94.4%
- 項目 3 「教材や指導方法に工夫が感じられる授業がある」 (R2) 88.5% ⇒ (R3) 92.6%
- 項目 4 「授業で自分の考えをまとめたり発表する機会がある」 (R2) 91.5% ⇒ (R3) 93.4%

豊中高校では、教職員それぞれが生徒の思考力を高める授業づくりについて日々模索しています。それを「豊高型アクティブラーニング」と名づけ、生徒の自律を促す授業スタイルが着実に根付いてきたと感じています。今年度は7月下旬に公開授業大会を実施し、「豊高型アクティブラーニング」について各教科で研究授業を行い、校内外の先生方と授業改善に向けた情報交換を行いました。

今後も生徒の皆さん一人ひとりの「自己実現」をめざし、カリキュラム編成や教材づくり、授業づくりに教科はもちろん、教科の垣根を超え全教職員で取り組んでまいります。授業は、教員だけでなく参加者全員で創ります。引き続き、生徒の皆さんと共に高めあう授業づくりを行います。

項目 10 「自習室を利用している」は、31.9%(R2) ⇒ 25.8%(R3)と利用率の減少がみられました。コロナによる感染不安により、自習室の他に教室を使用する生徒が増えたことも一つの要因であると考えています。今後、継続して有効な自習室のあり方を模索していきたいと考えています。

◆「ご家庭での学習について」は、以下の通りです。〔①1年生、②2年生、③3年生〕

- 項目 7 「自宅等で、家庭学習の習慣ができています」
(R2) ①50.0% ②58.8% ③85.0% ⇒ (R3) ①55.6% ②67.1% ③80.0%
- 項目 8 平日の家庭学習時間が2時間以上
(R2) ①22.2% ②34.1% ③91.8% ⇒ (R3) ①24.5% ②46.0% ③89.5%
- 項目 9 「休日の家庭学習時間が2時間以上」
(R2) ①54.3% ②62.6% ③94.4% ⇒ (R3) ①52.3% ②76.6% ③95.2%

学校外での学習習慣については、学年別にデータ分析を行っています。昨年度は学習時間が大きく増えていましたが、今年度になっても数値は下がっていないようです。家庭学習の時間が増えているのはいい傾向ですので、今後ご家庭でのサポートをお願いします。学校では、「学習サポートプログラム」などを通して、自学自習の習慣の見直しを図り、意義を考える機会が功を奏しているかもしれません。

◆進路指導について

- 項目 20 「希望する進路を実現するための講習や補習が充実」 (R2) 81.2% ⇒ (R3) 86.4%
- 項目 5 「自分の希望進路に応じた選択科目が用意されている」 (R2) 85.2% ⇒ (R3) 91.8%
- 項目 18 「学校では進路についての情報を得ることができる」 (R2) 90.2% ⇒ (R3) 95.7%
- 項目 19 「将来の進路や生き方について考える機会がある」 (R2) 87.3% ⇒ (R3) 92.6%
- 項目 14 「わからない所を質問に行ったら、丁寧に教えてもらえる」 (R2) 90.0% ⇒ (R3) 95.9%
- 項目 23 「先生は進路や学校生活等の悩みや相談に親身になって応じてくれる」
(R2) 79.9% ⇒ (R3) 91.3%
- 項目 11 「学習の意欲が向上するような講演や行事がある」 (R2) 58.6% ⇒ (R3) 67.0%

肯定的回答割合はいずれも前年度と比較して高い結果となりました。特に、昨年度大きく数値が落ち込んだ項目 23 の結果が改善されていたことはよかったと考えています。不安要素が多い中ですので、引き続きカウンセリングマインドを持って生徒の悩みや心配に迅速に対応できる体制を維持します。

◆行事、部活動等、生徒指導について

- 項目 27 「文化祭・体育大会・修学旅行等の学校行事は楽しく行えるよう工夫されている」
(R2) 88.2% ⇒ (R3) 89.0%
- 項目 28 「ホームルーム活動や行事にはクラス全体で取り組んでいる」
(R2) 90.3% ⇒ (R3) 94.9%
- 項目 29 「学習と部活動を両立している」
(R2) 65.5% ⇒ (R3) 81.9%

項目 27 について、体育大会・文化祭が条件付きではありますが実施できたことで肯定的な回答が少し増えました。何とか、制限なく従来通りの体育大会・文化祭を実施できることを教員も望んでいます。そんな中でも、豊高生の学校行事やHR活動に対し、積極的に取り組んでいる様子がわかります。

項目 29 は、昨年度に比べて大きく上昇していました。年度当初は依然として部活動に活動制限がありましたが、うまくバランスをとって活動できているという生徒が多いことがわかりました。

新型コロナの影響で、学校での教育活動はまだまだ気をつけながら進めていくものが多いですが、生徒・教員共に感染症対策を行うことができているおかげで、本年度は臨時休校措置を取ることがありませんでした。今後も引き続き、感染防止対策を徹底して学校行事や部活動を行っていきます。

◆全般について

- 項目 1 「学校に行くのが楽しい」
(R2) ①87.7% ②86.2% ③85.6% ⇒ (R3) ①84.8% ②83.2% ③87.6%
- 項目 33 「豊中高校に入学してよかった」
(R2) ①90.1% ②85.0% ③88.9% ⇒ (R3) ①90.7% ②86.9% ③89.5%

学校全般に関する項目について、項目 1 でポイントを下げた結果となってしまいました。昨年に続き不安要素の多い年となってしまいましたが、コロナ禍においても、生徒たちが魅力的でいきたいと思えるような学校であるようにしていかなければいけないと考えています。

◆教育相談等について

- 項目 25 「担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる」
(R2) 51.4% ⇒ (R3) 55.8%
- 項目 26 「先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」
(R2) 85.2% ⇒ (R3) 92.3%

上記 2 項目は、いずれも肯定的な回答が多くなっていました。いじめに関しては、年に 2 回、いじめアンケートを実施し、気になる項目に少しでもチェックが入っていれば担任など教員が一人ひとりに対して聞き取りを行い、いじめ対策委員会を開催して共有を行っています。アンケートの時だけに限らず、生徒一人ひとりの状況や背景を日常からしっかり見守っていきます。また、教育相談室なども気軽に利用できるよう周知していきます。

◆各種学校の取り組み事業について

項目 15 「理数系の課題研究の機会や、校外での施設見学、自然観察などの研修旅行の機会があることを知っている」(R2) 81.8% ⇒ (R3) 87.7%

項目 16 「文科系の課題研究の機会や、地域でのフィールドワークを行う機会があることを知っている」(R2) 71.4% ⇒ (R3) 71.1%

今年度も引き続き新型コロナの影響で中止・延期となるプログラムが多い中、年度末に東京研修、国内留学プログラムなど、一定の制限下においても実施可能なプログラムを提供できるよう各方面で工夫・努力をしています。次年度以降もどこまでできるかわかりませんが、各事業の具体的な取り組みやその目的・意義を皆さんにお伝えし、安心して参加できるプログラムを考えていきたいと考えています。

保護者アンケート調査結果のまとめ

◆ アンケート調査の方法について

昨年度より、保護者の皆様からのアンケートを Google フォームでお願いしています。紙での回答と比較し、回答率は10%近く増加し、多くの保護者の皆様からご意見を頂戴することができました。一部質問項目に対して、質問に対する回答が適切ではない、等のご指摘をいただきました。いただきましたご指摘については次年度以降の調査に反映させます。ありがとうございました。

◆ 学習について

項目 5 「子どもは授業がわかりやすく楽しいと言っている」 (R2) 66.9% ⇒ (R3) 71.5%

項目 6 「学習評価の仕方は納得できる」 (R2) 94.3% ⇒ (R3) 93.9%

項目 7 「授業内容が子どもの学習や発達に刺激を与えている」 (R2) 84.2% ⇒ (R3) 81.1%

今年度は、ようやく10月に授業公開が実施できました。ただ、保護者の皆様に授業を見学いただく機会は一度しかありませんでした。新年度(77期生以降)より、新学習指導要領に沿った授業となり、観点別に学習状況の評価を行います。在校生については変更ありませんが、授業以外にも、学習意欲を高める講演や行事の取組みをさらに進めてまいります。

◆ 進路指導、学校行事、部活動、生活指導について

項目 12 「将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている」 (R2) 84.5% ⇒ (R3) 84.4%

項目 13 「生徒の進路に関して、家庭への情報発信や連携ができています」 (R2) 71.3% ⇒ (R3) 74.8%

昨年度に要望のありました進路に関する情報提供については、PTA 役員の方々のご協力のもと、学校との意見交換も定期的に行い、進路HRなどの情報をPTAメールで発信させていただきました。PTAメールで添付ファイルの送信が可能になりました。必ずご確認いただきたい配付物を生徒への配付と共にメールに添付するなどの工夫を行い、保護者の皆様へ確実に情報を提供できるような体制づくりに努めてまいります。

項目 15 「生活指導の方針に共感できる」 (R2) 82.3% ⇒ (R3) 87.0%

項目 14 「生活指導面で家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている」 (R2) 63.9% ⇒ (R3) 65.3%

生活指導に係る項目についても、昨年度は肯定的回答率が低かったのですが、今年度は少し改善しました。引き続き、保護者の皆様に共感していただける生活指導を継続してまいります。

◆ 全般について

項目 1 「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」 (R2) 89.1% ⇒ (R3) 85.9%

項目 2 「子どもは充実した学校生活を送っている」 (R2) 91.8% ⇒ (R3) 89.6%

項目 19 「子どもの心身の健康や進路について気軽に先生に相談できる」 (R2) 64.7% ⇒ (R3) 64.3%

項目 26 「PTA活動には参加しやすい」 (R2) 69.1% ⇒ (R3) 61.0%

学校に対するお子様の期待や充実度など、上記項目が全て昨年に比べて下がっていました。次年度も各種行事や公開授業などの機会にぜひご参加いただき、お子様の様子をご覧いただくとともに、本校の教育活動に多くのご意見を今後も賜りますよう、どうぞよろしく願いいたします。